

Estuary 047



エスチュアリ

～いしかり砂丘の風資料館だより～

☆エスチュアリ…「河口」の意味。北海道一の大河、石狩川と日本海とが出会う場所、それが石狩です。

横文字が書かれた器 コンブラ瓶

収蔵資料のひみつ

皆さんはコンブラ瓶という器を御存知でしょうか？ コンブラ瓶とは幕末から明治期にかけて、長崎県の波佐見（はさみ）で焼かれた主に醤油や酒類を詰めていた容器です。胴部には「JAPANSCHZOYA」（ヤーパンス・ソーヤ、日本の醤油）、「JAPANSCHZAKY」（ヤーパンス・サケイ、日本の酒）といったオランダ語の文字が書かれています。

遺跡から出土するコンブラ瓶は特徴的な性格を持ってい

て、生産地である長崎の他は、北海道の特に沿岸部の遺跡でよく出土しています。

石狩市でも若生（わかおい）C遺跡と聚富（しっぷ）川口遺跡の2ヶ所で確認されていて、若生C遺跡では計7点のコンブラ瓶が出土しています。

本来、コンブラ瓶は長崎の出島への売り込みや輸出用として生産されたものだと考えられていますが、なぜその容器が北海道にまで辿りついているのでしょうか。考えられる可能性は、他の陶磁器と一緒に日常的に使う器として持ち込まれたということ、もう一つは長崎と北海道の交易の中で航海中に使用するものとして持ち込まれたということです。

今の時代、アルファベットの横文字は日常的に使用されていますが、当時の人々にとっては物珍しい器として重宝されていたのではないのでしょうか。◆

（木戸奈央子 きどなおこ）



*コンブラ瓶の「コンブラ」とは・・・ポルトガル語の「Comprador（コンブラドル）」からきているもので、「仕入れ係り」などの意味があります。ポルトガルとの南蛮貿易をおこなっていた日本の商人のことを「コンブラドル」「コンブラ仲間」と呼んでいました。

いしかり砂丘の風資料館 紀要 第4巻、発行しました!

「紀要」とは、大学や研究所、博物館などが、研究成果をまとめて掲載する定期刊行物です。砂丘の風資料館でも、石狩の自然や歴史に関する調査・研究の結果を後世に伝えるために毎年、発行しています。第4巻には、学芸員や市内内外のプロ・アマの研究者による学術論文8本が掲載されています。

はっきり言うと、このような論文は、おもしろく読めるようには書かれていません。他の研究者が石狩の自然や歴史を解明するときの参考に使えるよう、また、未来に残すのに耐えられるよう、客観的な事実をもとに、曖昧な表現をしないように書くからです。想像や感想、例え話はタブーなのです。

とはいえ、せつかく解明されたたくさんの新事実。市民のみなさんにも読んでみてほしい! そこで論文の著者に、どんなことが書いてあるかをインタビュー! さて、今回は…

石狩紅葉山49号遺跡から出土した木製容器について (荒山千恵) p13-23.

Q. 遺跡から出る「容器」って、土器じゃないの?

荒山「みなさん土器をイメージしますが、木でできた器も使われていました。でも木は埋もれている間に腐ってしまうので残りにくく、あまり知られていないのです。」

Q. この研究、ズバリ言うと、何をやったんですか?

荒山「この縄文時代の遺跡(M49)からは、木でできた器がたくさん出土しています。このうちの2点を復元製作してみたのです。もちろん使った道具は現在のものですが。」

Q. 同じ形・大きさで作ったんですね。すると何がわかったの?

荒山「これらの器は計画性を持って製作されたということが確認できました。当時の木の器は、1つの木材をどんどん削り落として完成させています。M49の器は両端が高くなったり突起があるものが多いのですが、そのような形にするためには、最初から完成形を頭に浮かべた上で、十分な大きさの木材を

用意する必要があるんです。」

Q. 遺跡を掘るだけが考古学じゃないんですね。

荒山「今回の復元製作は「実験考古学」

という手法です。そのほかにも、たくさんの木の器を観察し、比べてみました。M49出土の33点と、ほかの地域の遺跡のものなども含めて調査しました。その結果、縄文時代の人々は、木の種類や部位などの特性を活かして作っていたことがよくわかりました。器の一つ一つを手にとってじっくり見ていくと、縄文の人の「ものづくりの心」が垣間見えてきます。そこがもう、たまらない!」

Q. とところで、何千年も昔の縄文時代の道具を調べて、何か現代の人の役に立つの?

荒山「縄文時代は、人が自然の恵みを大切に利用していた時代です。その先人の知恵と技は、現代社会に生きる私たちが自然と付き合っていく上で学ぶこともたくさんあります。」

Q. 次の研究は? どんなことを調べていこうと思ってますか?

荒山「M49からは、器のほかにもいろいろな木の道具が出土しています。それらを解明していきたいですね。」

★この研究に使ったM49の木製容器のうち、6点は資料館で展示しています。また、復元製作した舟形容器も展示していて、こちらは触ることもできます!

「いしかり砂丘の風資料館紀要」は、第1巻から、石狩市民図書館などで読むことができます。また、資料館ホームページからもPDFファイルをダウンロードできます。



2014年7月～8月の展示

10周年記念

いしかり砂丘の風資料館テーマ展

プロジェクトM:

石狩の自然遺産・文化遺産

石狩の自然遺産・文化遺産を再発見し、それらを活用する博物館のあり方を考える、市民の活動「プロジェクトM」。メンバーが遺産約80件を選び、それらをめぐるツアーマップを作りました!

■期間 4月26日(土)～7月16日(水)

■場所 いしかり砂丘の風資料館

※資料館の入館料が必要です。



開催中!

10周年記念

いしかり砂丘の風資料館テーマ展

福岡幸一 銅版画展

1億年前の北海道のアンモナイトたち

アンモナイトをテーマに、精緻な銅版画を製作する福岡さん。自ら図鑑も刊行するほどの研究者でもあります。その作品と、モデルとなったアンモナイト化石を同時に展示。

※ギャラリートークも開催!(7/27(日)16:00～)

■期間 7月19日(土)～8月31日(日)

■場所 いしかり砂丘の風資料館

※資料館の入館料が必要です。

7月開催



2014年の講座・展示

講座

種類	講座名	開催日	場所
野外講座	石狩ビーチコーマーズ／春の漂着物 海辺の漂着物を観察・採集します。	終了！ 4月20日(日)	石狩浜、砂丘の風資料館
演奏会	打楽器奏者茂呂剛伸演奏会 縄文太鼓、民族楽器の演奏会。	終了！ 5月30日(金)	砂丘の風資料館
野外講座	地層と化石 800万年前の地層を観察して、化石を探します。	終了！ 6月22日(日)	野外(厚田区)
体験講座	土器づくり教室(全3回) 縄文土器を作ります。3回目は野焼き。	7/19、26、9/6(土)	石狩市公民館、紅葉山49号遺跡
体験講座	テンキ作り～ハマニンニクで小ささを編む～ アイヌの工芸品「テンキ」を編みます。	7月26日(土)	石狩市公民館
ギャラリートーク	化石からのメッセージ 版画家の福岡幸一さんが、作品と化石を前にトーク。	7月27日(日)	砂丘の風資料館
体験講座	サケ切身骨格標本をつくる スーパーのサケの切身を骨格標本にしよう。	8月2日(土)	砂丘の風資料館
体験講座	縄文のサケ漁をジオラマでつくろう(全2回) 縄文時代のサケ漁の様子をジオラマで作ります。	8/9、23(土)	砂丘の風資料館
野外・体験	自由研究応援!夏休み石狩ツアー プロジェクトM主催。自然観察、漂着物、オブジェ制作。	8月30日(土)	石狩浜、砂丘の風資料館など
体験講座	勾玉づくり 古代のお守り・装飾品の勾玉を作ります。	8月30日(土)	砂丘の風資料館
野外講座	石狩湾岸～低地帯サケをめぐるバスツアー 石狩、小樽、札幌のサケスポットをバスで巡ります。	10月18日(土)	石狩湾沿岸、石狩川下流域
野外講座	石狩ビーチコーマーズ／秋の漂着物 海辺の漂着物を観察・採集します。	10月 (日)	石狩浜、砂丘の風資料館
トークイベント	ウミベオロジー／石狩海辺学2014 知ってるようで知らない海辺の世界を語ります。	11月29日(土)	紀伊國屋書店札幌本店
体験講座	フライドチキン骨格標本をつくる フライドチキンから骨格標本を作ります。	12月20日(土)	未定(花川地区の会場)
連続講座	石狩大学博物館(全2回、4科目) 石狩の自然や歴史について、最新の研究成果を紹介。	1月 (土)	石狩市民図書館
野外講座	石狩ビーチコーマーズ／冬の漂着物 海辺の漂着物を観察・採集します。	2月 (日)	石狩浜、砂丘の風資料館

展示

種類	展示名	開催期間	場所
テーマ展	プロジェクトM:石狩の自然遺産・文化遺産	4/26～7/16	砂丘の風資料館
テーマ展	1億年前の北海道のアンモナイトたち	7/19～8/31	砂丘の風資料館
テーマ展	川と人と漁-遺跡にみる縄文の河川漁-	9/10～11/10	砂丘の風資料館
出張展示	ミニ展示(連続講座「石狩大学博物館」関連)	(未定)	石狩市民図書館
テーマ展	資料館のお宝2015	12/20～3/29	砂丘の風資料館

※講座は申込が必要です(一部を除く)。
※日程・内容は変更になることがあります。

2014年7月～8月の講座

体験講座（全3回）

土器づくり教室

縄文時代と同じ方法で土器を作ります。

- 日時 7/19(土)、7/26(土)、9/6(土)
- 場所 石狩市公民館、石狩紅葉山49号遺跡
- 定員 小学生以上15人(申込多数時抽選)
- 費用 400円(材料費)
- 申込 7/1(火)～7/10(木)の間に電話で資料館(0133-62-3711)へ

7月開催

体験講座

テンキ作り～ハマニンニクで小かごを編む～

石狩の海辺にみられるハマニンニクの葉を材料に、アイヌの工芸「テンキ」作りに挑戦します。

- 日時 7月26日(土)10:00～16:00
- 場所 石狩市公民館
- 定員 小学生～大人、20人(先着順)
(小学生は保護者同伴で)
- 費用 無料(持ち物:エプロン、タオル、昼食)
- 申込 7/1(火)～7/22(火)の間に電話で資料館(0133-62-3711)へ

7月開催

体験講座

サケ切身骨格標本をつくる

スーパーで売っているサケの切身から骨を取り出し、きれいに処理して学名ラベルを付ければ、立派な部分骨格標本のできあがり! 骨から生命の進化の歴史も考えます。

- 日時 8月2日(土)12:00～17:00
- 場所 いしかり砂丘の風資料館
- 定員 小学4年生～大人、10人(先着順)
- 費用 無料
- 持ち物 サケ切身(食べられる状態で・骨の多いもの)
- 申込 7/1(火)～7/30(水)の間に電話で資料館(0133-62-3711)へ

8月開催

サケサイエンス・テリング2014
サケ博士になろう!

体験講座（全2回）

縄文のサケ漁をジオラマで作ろう

石狩紅葉山49号遺跡の川の跡から出土した漁のしかけのもとに、縄文時代のサケ漁のようすについて、ジオラマ(立体模型)を作り復元します。(※みんなで1つのジオラマを作ります)

- 日時 8/9(土)、8/23(土)10:00～15:00
- 場所 いしかり砂丘の風資料館
- 定員 小学生～大人、10人(先着順)
(小学生は保護者同伴で)
- 費用 無料(持ち物:エプロン、昼食)
- 申込 7/1(火)～7/27(日)の間に電話で資料館(0133-62-3711)へ

8月開催

野外・体験

プロジェクトM: 自由研究応援! 夏休み石狩ツアー

海岸で解説を受けながら自然観察や漂着物拾いをして、オブジェなどの作品づくりを行います。(プロジェクトM主催)

- 日時 8月16日(土)09:00～15:00
(雨天の場合:8/17(日))
- 場所 石狩浜、砂丘の風資料館など
- 定員 小学生～中学生、15人+保護者(先着順)
(小学生は保護者同伴で)
- 費用 無料
- 申込 8/1(金)～8/13(水)の間に電話で資料館(0133-62-3711)へ

8月開催

プロジェクトM

体験講座

勾玉づくり

勾玉とは、古代の人々が石などで魔除け、装身具等として身につけていたものです。今回は、あまちゃんでもお馴染みの岩手県久慈の再生琥珀を使って勾玉を作ります。
(いしかり砂丘の風の会 主催)

- 日時 8月30日(土)10:00～12:00
- 場所 いしかり砂丘の風資料館(屋外)
- 定員 小学生～大人、20人(先着順)
(低学年は保護者同伴で)
- 費用 1300円(材料・保険込み)
- 申込 8/1(金)～8/22(金)の間に電話で資料館(0133-62-3711)へ

8月開催

編集後記

エスチュアリ、とうとう復活! 2年ぶりです。ネタがたまっていて紙面ぎゅうぎゅう詰めで…。(け)

エスチュアリ No.47

2014年6月25日発行

いしかり砂丘の風資料館
開館時間 午前9時30分～午後5時00分
休館日 毎週火曜日(祝日の場合はその翌日)、年末年始
入館料 300円(中学生以下は無料)

いしかり砂丘の風資料館
〒061-3372 北海道石狩市弁天町30-4
TEL/FAX: 0133-62-3711
bunkazaih@city.ishikari.hokkaido.jp
http://www.city.ishikari.hokkaido.jp/museum/